

# 小規模事業者 景気動向調査報告書

(令和5年7~9月期)

**延岡商工会議所／中小企業相談所**

**延岡市幸町3丁目101 延岡駅西口街区ビル3階**

**TEL 0982(33)6666**

**FAX 0982(33)6682**

## I. 実施概要

1. 調査対象事業所数	125事業所
2. 回答事業所数	60事業所
3. 回答率	48.0%
4. 業種別内訳	
製造業	12事業所
建設業	3事業所
卸売業	3事業所
小売業	26事業所
サービス業	16事業所
合計	60事業所

### 5. 実施時期

令和5年 9月上旬～10月下旬

### 6. 調査対象期間

令和5年 7月から9月（第2四半期）

### 7. 調査内容

調査対象期間である第1四半期について前年同期比、前期比、来期見通しの売上（受注）状況、採算（経常利益）、資金繰り、材料仕入価格、雇用（労働力）状況、設備投資計画、業況の各項目についての状況。

（D I 値の集計）

#### ※ D I 値（景況判断指数）について

D I 値は、売上、採算、資金繰り、仕入価格、雇用状況、設備投資、業況の各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気、弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

$D I = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

売上：（増加）－（減少）

採算：（好転）－（悪化）

資金繰り：（好転）－（悪化）

仕入価格：（低下）－（上昇）

従業員：（不足）－（過剰）

設備投資：（拡大）－（縮小）

業況：（好転）－（悪化）

### 8. 調査方法

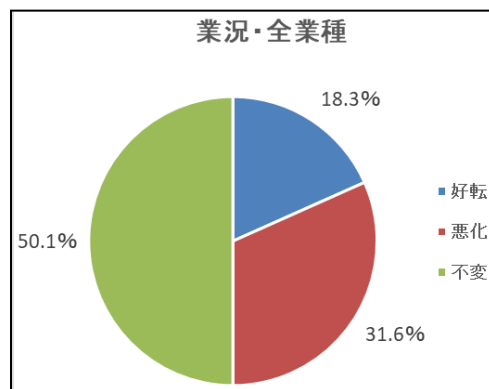
調査対象事業所に対して、調査票を郵送しファクシミリ及び電子メール等で回収、当所にて集計、分析を行う。

## Ⅱ. 概況

### 1. 全業種の業況

全業種の業況判断として、前年同期比（令和4年7月～9月）のD I値は▲13.3ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は18.3%、悪化したと回答した事業所が31.6%、変わらないと回答した事業所は50.1%だった。



令和5年7～9月の前年同期比について、コロナ禍と比較し、売上が増加したとの意見もあるが、全体的な意見として、原材料高騰による採算性の悪化に苦慮した事業所が多かった。

その他、物価高騰による消費者の購買意欲の変化、人手不足や人件費の上昇について述べるものが見られた。

	R4. 7～9 前年同期比	R5. 4～6 前期比	R5. 10～12 見通し
全業種	▲13.3	▲10.0	5.0
製造業	▲16.7	▲25.0	16.7
建設業	33.3	33.3	0.0
卸売業	66.7	33.3	33.3
小売業	▲15.4	▲3.8	3.8
サービス業	▲31.3	▲25.0	▲6.3

来期見通し（令和5年10～12月）のD I値については、5.0ポイント。

サービス業を除く業種で好転の見込み。

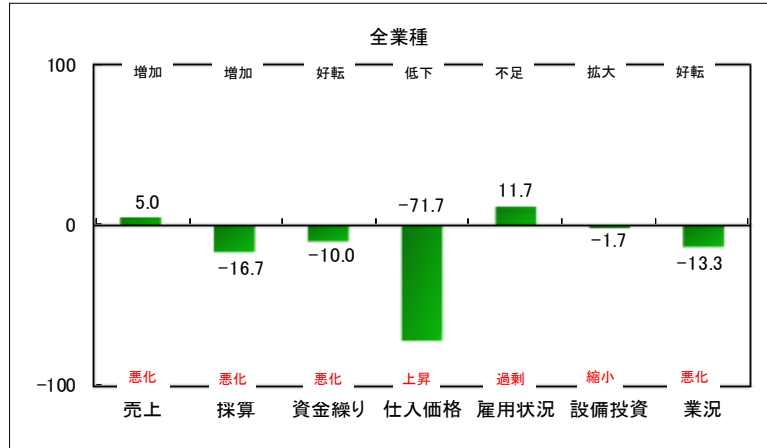
要因として、年末商戦等による売上の増加を見込む意見が多かった。しかし、人員不足による業務過多や受注・販売機会の損失と原材料・人件費の高騰による採算性について懸念する声があった。

その他、インボイス制度導入による経営環境の変化に対して懸念する意見もあった。

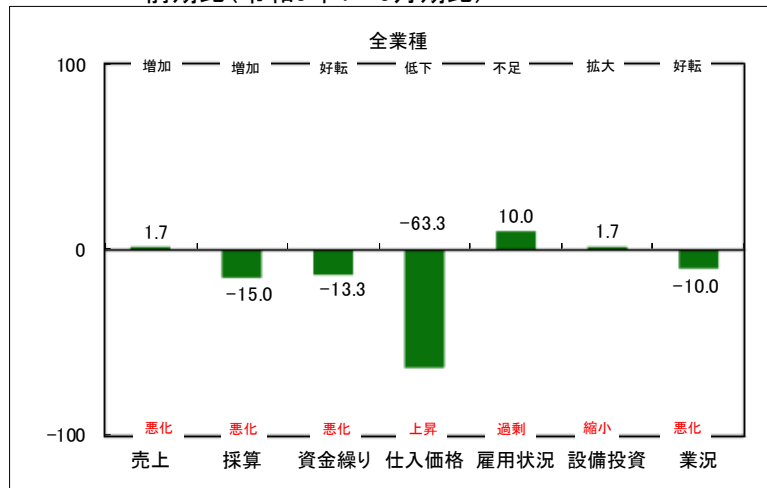
## 市内景気動向

### 全業種

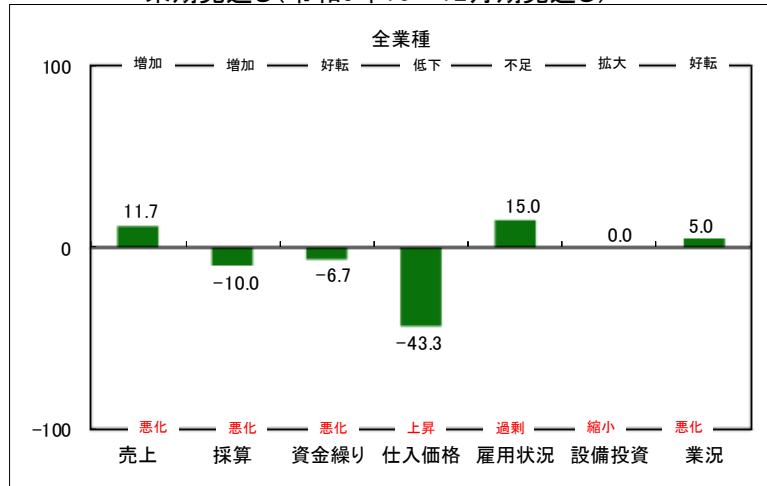
前年同期比(令和4年7~9月期比)



前期比(令和5年4~6月期比)



来期見通し(令和5年10~12月期見通し)

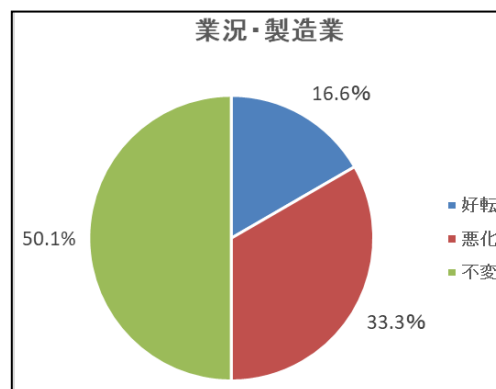


## 2. 業種別の概要

- ① 製造業の業況判断は、  
前年同期比のD I 値が▲16.7ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は、16.6%、  
悪化したと回答した事業所が33.3%、  
変わらないと回答した事業所が50.1%だった。

来期見通しD I 値については16.7ポイントで、  
好転の見通しとなっている。



### ○主な意見

#### 【半導体製造装置用部品加工業】

・「半導体関係の受注激減、また社員が3人退職した為、人手不足に陥っている。」

#### 【看板製造業】

・「新規案件が数件あり、売上は上がったが、原材料高騰により、採算性は良くない。」

#### 【機械製造業】

・「人手不足により、仕事量増加に対応する余力がない。」

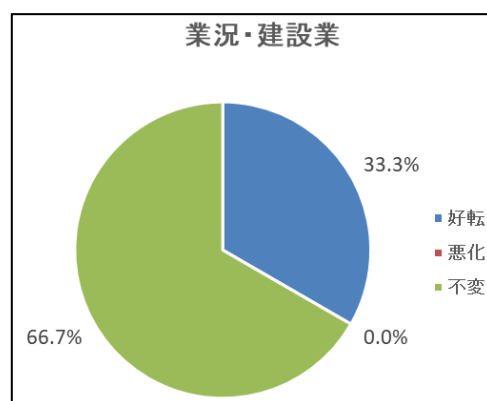
#### 【屋外広告業】

・「仕入価格の高騰や賃上げ等で経費の出費が増加傾向にある。」

- ② 建設業の業況判断は、  
前年同期比のD I 値が33.3ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は33.3%、  
悪化したと回答した事業所は0.0%、  
変わらないと回答した事業所は66.7%だった。

来期見通しのD I 値は、0.0ポイントで、不変見通し  
となっている。



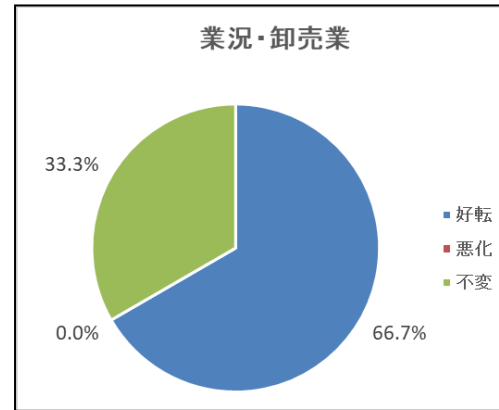
#### 【アルミサッシ取付業】

・「延岡市の入札が取れたことで売上が増加した。」

③ 卸売業の業況判断は、  
前年同期比のD I 値が66.7ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は66.7%、  
悪化したと回答した事業所が0.0%、  
変わらないと回答した事業所33.3%だっ  
た。

来期の見通しD I 値は、33.0ポイントで、  
好転の見通しとなっている。



○主な意見

【乳製品卸売業】

・「廃業した同業者の取引先を引き続き、売上は増加しているが、メーカーからの値上げが続いている。」

【事務用品・機器販売業】

・「販売価格が上がった分、売上は少し増加したが、採算性は悪化。」

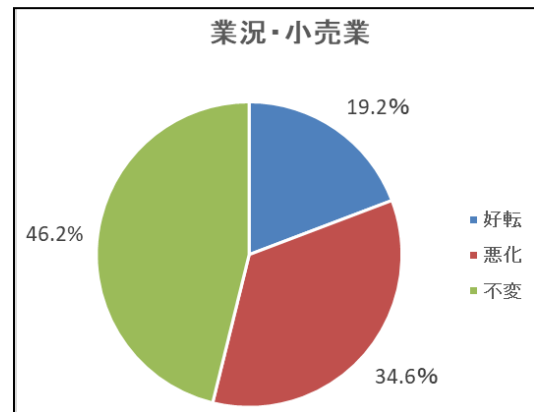
【食料品卸売業】

・「価格転嫁により、売上がやや増加した。年末商戦に期待したい。」

④ 小売業の業況判断は、  
前年同期比のD I 値が▲15.4ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は19.2%、  
悪化したと回答した事業所は34.6%、  
変わらないと回答した事業所は46.2%だっ  
た。

来期の見通しD I 値は、3.8ポイントで、  
好転の見通しとなっている。



○主な意見

【眼鏡小売業】

・「コロナ禍が経過した後も消費者の動きが鈍く、夏場は気候の関係で高齢者の来店が少なかった。」

【生花業】

・「コロナの環境も少しずつ平常に戻りつつあり、その関係で花需要も回復傾向にある。」

【飲食業】

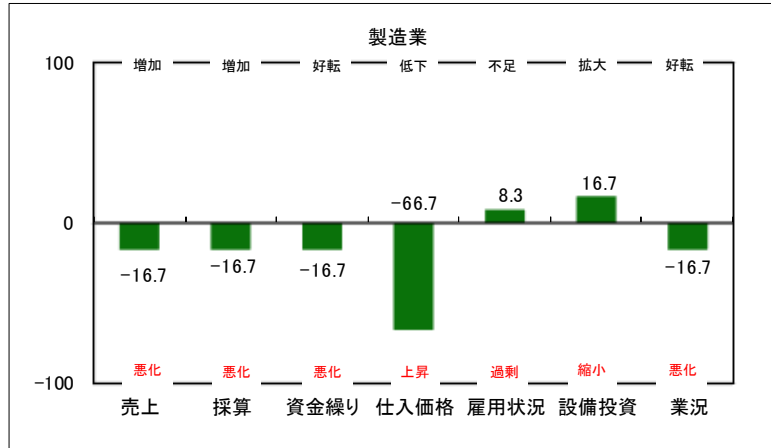
・「団体の利用客が増え、売上も増加しているが、原材料高騰が依然として続いている為、先行きが心配である。」



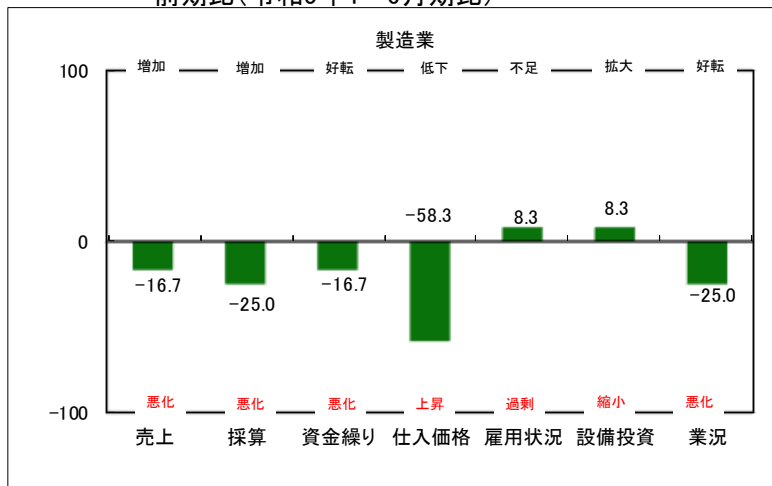
## 業種別景気動向

### 製造業

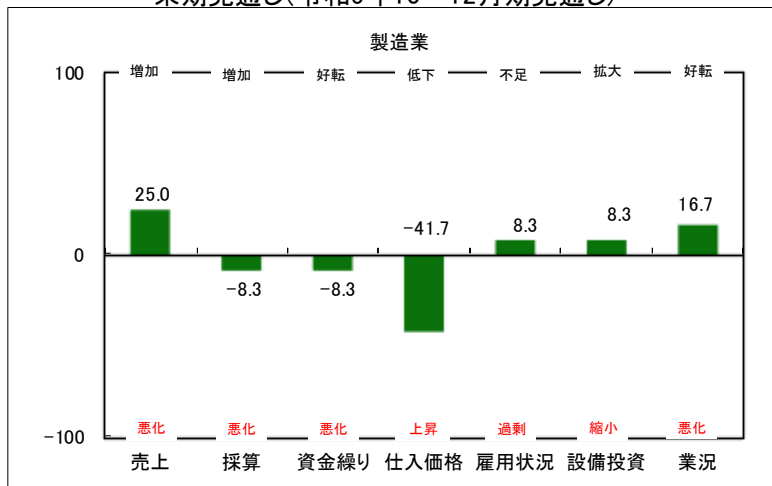
前年同期比(令和4年7~9月期比)



前期比(令和5年4~6月期比)



来期見通し(令和5年10~12月期見通し)

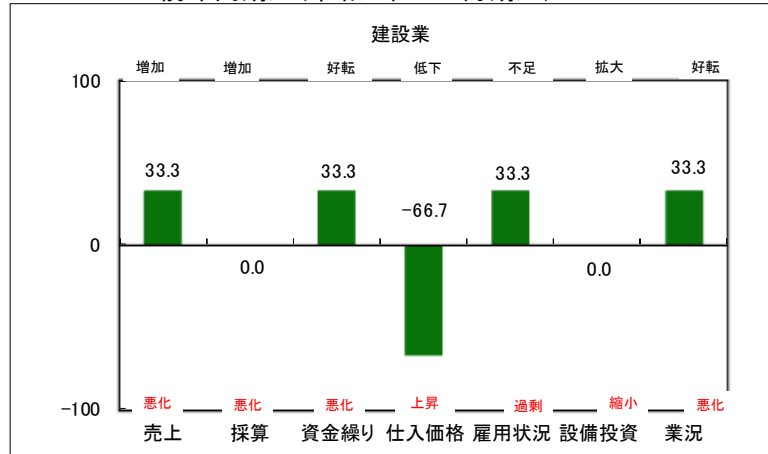




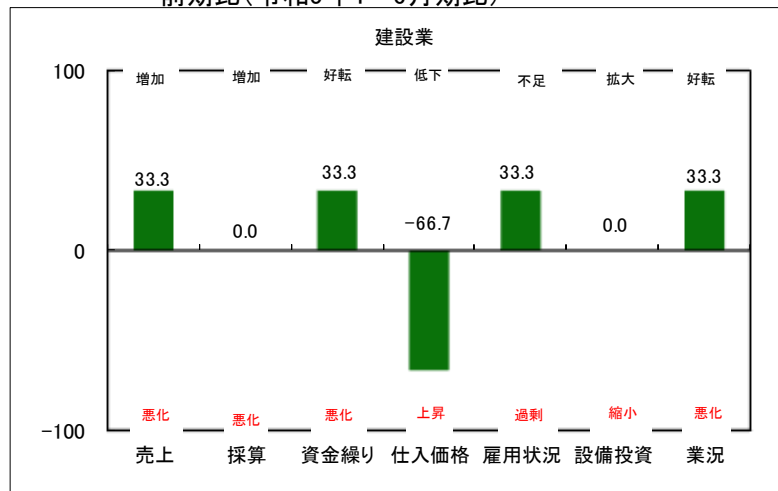
## 業種別景気動向

### 建設業

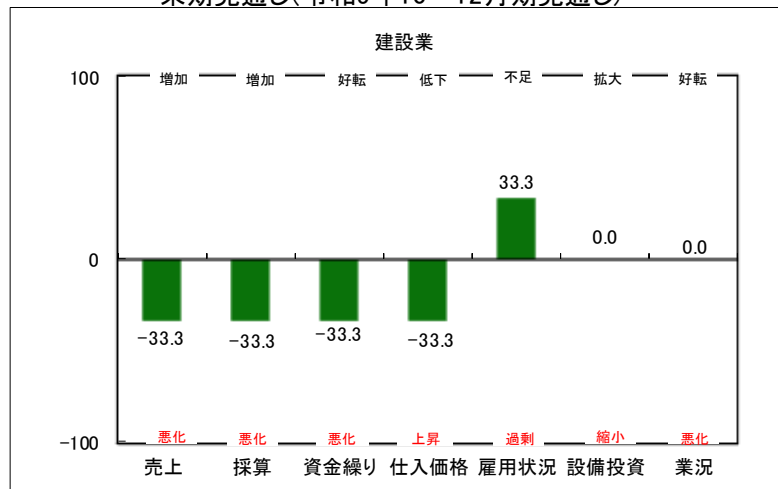
前年同期比(令和4年7~9月期比)



前期比(令和5年4~6月期比)



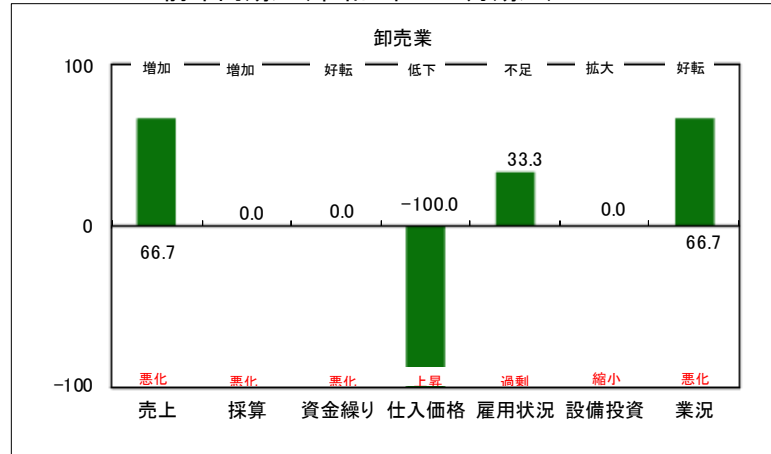
来期見通し(令和5年10~12月期見通し)



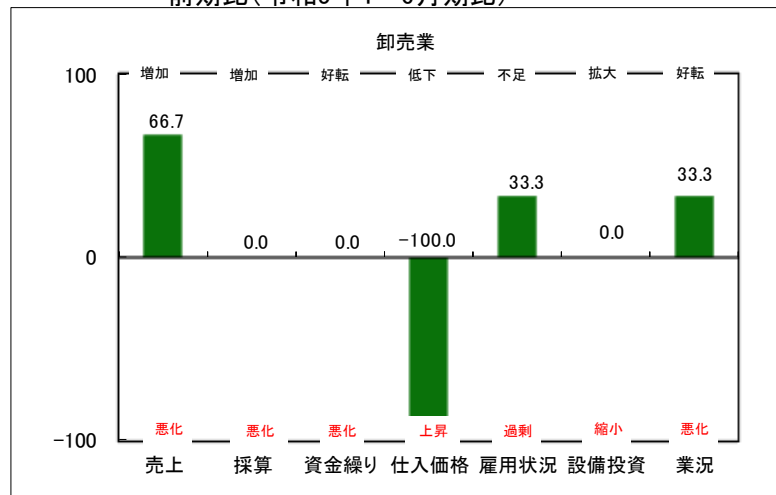
## 業種別景気動向

### 卸売業

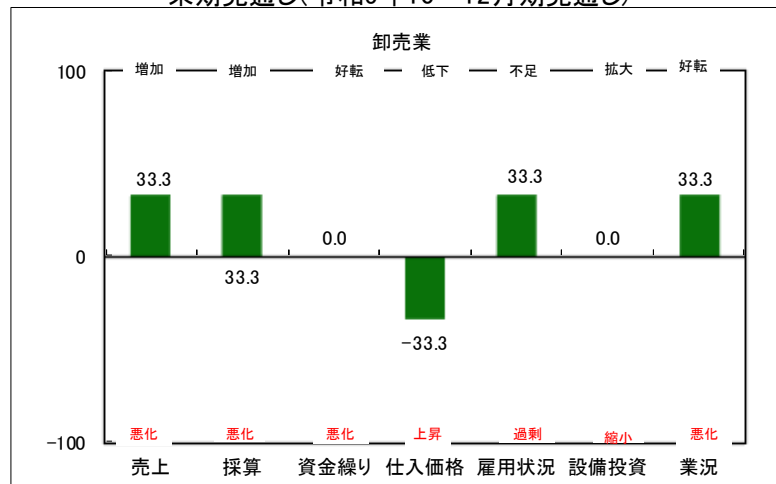
前年同期比(令和4年7~9月期比)



前期比(令和5年4~6月期比)



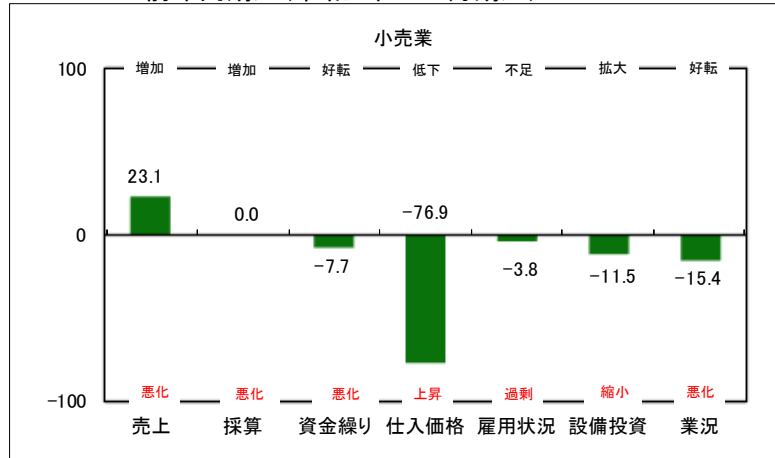
来期見通し(令和5年10~12月期見通し)



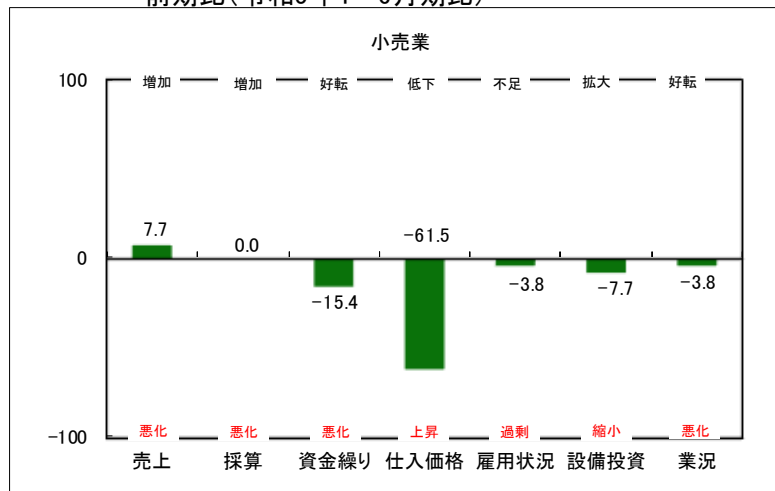
## 業種別景気動向

### 小売業

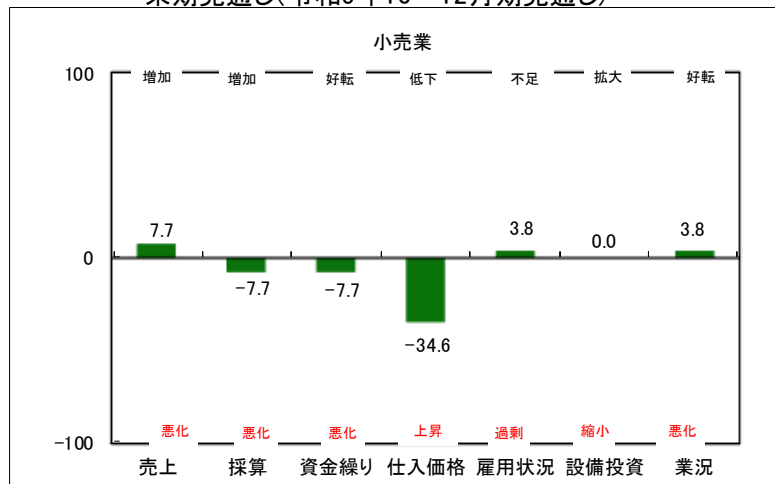
前年同期比(令和4年7~9月期比)



前期比(令和5年4~6月期比)



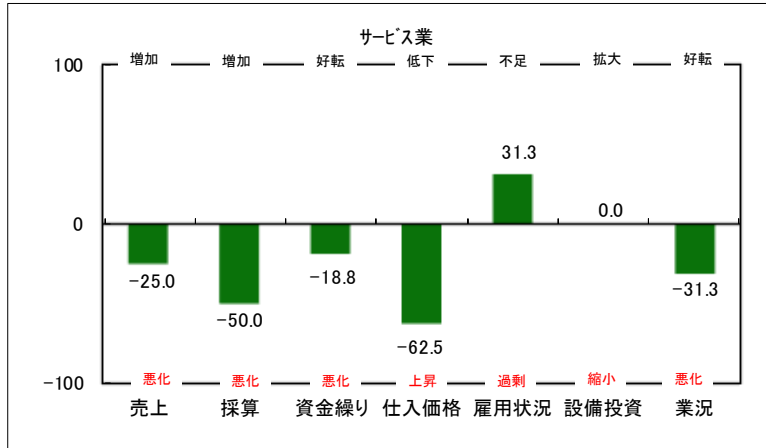
来期見通し(令和5年10~12月期見通し)



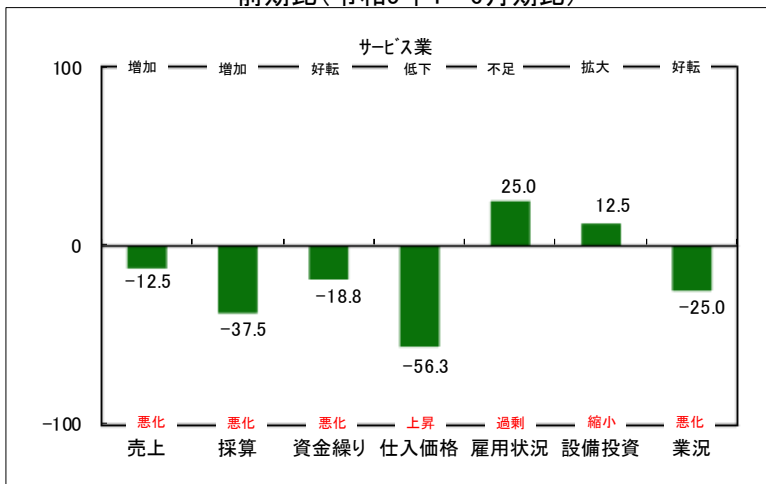
## 業種別景気動向

### サービス業

前年同期比(令和4年7~9月期比)



前期比(令和5年4~6月期比)



来期見通し(令和5年10~12月期見通し)

